

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.380.2026



2026年8月20日発行

公益財団法人仙台 YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町 9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 加藤雄一
編集人 / 松島見子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS

8-9



YMCA幼稚園の キャンプ

仙台YMCA幼稚園 特集

「あー明日楽しみー！」7/17(金)、年長のゆり組の子どもから洩れた一言です。幼稚園の年長児ゆり組の30名(お休みが1人いて、当日は29名。涙)は、7/18から1泊2日のキャンプに行ってきました。場所は昨年に引き続き、柴田郡川崎町にある『アオネマトカ』です。

キャンプから遡ること約1か月前、キャンプに向けた導入が始まりました。私は、昨年度から持ち上がりで担任をしているのですが、年中組の頃から、どんな活動でもいつも純粋に興味を抱き、意欲をもって楽しもうとする様子がある子どもたちでした。そのため、私たち保育者が“こんな楽しいところに行ってきたんだ”という話をすれば、すぐに「ずるい!」「行きたい!」となるのが予想できました。しかし今回は、宿泊を伴う活動です。今までのように「行きたい」の最初の気持ちだけでは当日までのモチベーションを保つことはできません。いかに興味を掻き立て、期待感を高めながら当日を迎えられるか、ペアの先生と作戦を練りました。そして、「子どもたちの“やりたい”を叶えるキャンプにしよう」という目標をもちました。普段から自主性を大切に保育をしています、改めてそれを確認し、必ず活動として取り入れたい川遊びやキャンプファイヤーなどについてはこちらから種をまきつつ、その他については子どもたちの意見を大切にすることを決めたのです。



(第2面へつづく)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわがを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。



実際に話し合いが始まると、“キャンプ”というワードから次々と連想し、やりたいことをどんどん挙げる子どもたちの姿がありました。そして話が進んでいくと、例年通りの川遊びや虫とりなどの他に、私たちにとっても初めての『釣り』と『テントで寝る』が決まりました。私も、ペアの先生も、経験したことのない二つが決まってしまう、果たして実現できるのか？と内心不安もありました。しかし、“やりたい”を叶えるキャンプが目標です。実際に釣りをしていた南大野田さんや釣具屋さんに知識をいただき、準備を重ねました。

この時点でキャンプから2週間前。

そしてこの頃から、宿泊を心配する子も始まりました。家庭での様子を聞いたり、クラスで話し合いをするときの表情を見たりしながら、毎日を過ごしていきました。少し不安を感じている子も、大抵は「友だちと一緒になら大丈夫かも！」「泊まるのは心配だけど〇〇がしたい！」と前向きな気持ちをもてるようになっていきます。しかし今年は本当にギリギリまで泊まるのを渋っている男の子がいました。特に注意深く家庭とのやり取りを続け、その子が少しでも興味をもったことを掘り下げるなどしていくと、ついにキャンプ直前におうちの方から、「昨日『泊まってみるか。僕ならできる』と言っていました！」という言葉聞くことができました。そしてその子は生き生きとした表情で過ごすことができたのです。

また、同じく宿泊に不安を抱いていた別の男の子は、キャンプが終わってから1週間ほど経った後、「キャンプ楽しかったな〜。泊まるの心配だったけど、行ってよかった」と話してくれました。その子は昨年度から長期休みの間に預かり保育を利用すると、朝に激しく渋ってしまう子でした。この発言があった日も夏休みに入っていたため、おうちの方に様子を聞いてみると、「それがむしろ早く行こう、って感じだったんです。キャンプが終わってからお手伝いもよくしてくれていて…」という答えが返ってきました。

冒頭のセリフは、一人だけでなく複数人から出た言葉でした。自分たちで決め、期待をもって臨み、そしてやり切った経験が、子どもたちの中に少しでも何かを残してくれたことを祈るばかりです。当日の様子もお伝えしたかったのですが、書ききれないので写真から感じていただけたらと思います。最後に、私たち担任にとっても楽しい思い出をくれた子どもたちと、送り出してくださったおうちの方、たくさん手伝ってくれ見守ってくれた先生方、最高の時間を与えてくれた神様に、感謝を込めて…。

(YMCA幼稚園：安藤 光沙)

report

2026年度 仙台YMCA大会

本部事務局 / 小幡 忠弘

2026年6月27日(土)、立町会館4Fホールにて「2026年度 仙台YMCA大会」が開催されました。今年度は2部構成プログラムで執り行われ、多くの関係者や会員の皆さまにご参加いただきました。

第1部の公開講演では、「つながる手、つながる心」をテーマに、仙台YMCA常議員の清水弘一さん・川上直哉さん、ユースボランティアリーダーの佐藤寛孝さん・一ノ渡そのかさんを登壇者としてお迎えしました。仙台YMCA職員の尾木善宣さん司会のもと、日頃のボランティア活動の紹介をはじめ、YMCAと関わるようになったきっかけや、これからのYMCAに期待することなどについて、それぞれの視点から思いのこもった貴重なメッセージやエピソードを伺うことができました。続く第2部の開会礼拝では、日本基督教団石巻栄光教会の川上直哉牧師をお招きし、「良き業は、誰によって」と題した奨励をいただきました。マルコによる福音書をもとに展開されたメッセージでは、他の福音書と比較しながらイエス・キリストがいかに人間らしく描かれているかという点にスポットが当てられ、参加者一同、深い学びと気づきを得る時間となりました。

開会礼拝に続いて行われた会員総会では、組織会での総会成立宣言後、清水弘一常議員会議長の進行により議案が審議されました。加藤雄一総主事より2025年度の決算および事業報告が行われたほか、各法人の事業統括責任者からスライドを用いて具体的な事業成果が報告されました。さらに、加藤総主事から2026年度の予算・事業方針、常議員候補者の選任報告がなされました。総会の最後には維持会員継続の表彰感謝が行われ、長年YMCAを支えてくださった方々に深く感謝が捧げられました。40年継続会員の方々をはじめ、当日は20年継続会員として佐々木絹子さんが菅野健会長より表彰を受けられました。

長年にわたり真摯にYMCAを支え続けてくださる多くの方々の存在を改めて実感するとともに、YMCAに連なるすべての方々への感謝を胸に、新たな歩みへ向けて力強いスタートを切る節目となりました。ご参加・ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



国際ビジネス科 1 年 / ワルナクラス-リヤワト ウメスリー-ゲ チャマリメンディ イス

私は、スリランカから日本に留学して、今年3年目の夏を迎えました。初めての夏に「仙台七夕祭り」を見たときは、とても感動しました。仙台七夕祭りは、江戸時代から市民に広く親しまれてきた伝統的なお祭りです。七夕飾りは、美しい和紙で作られた提灯で飾られます。竹竿が立てられ、笹竹の枝には、人々が願い事を書いた和紙を吊るします。真夏の暑い季節、風に吹かれて揺れる七夕飾りは、本当にきれいでした。しかし、見るべきものは、きれいな飾りだけではないことに、今年、気がつきました。

人々はこの美しい瞬間を祝福しながら、これまで人生で直面した困難な状況を乗り越えてきた日々思いを馳せています。たとえば、第2次世界大戦や東日本大震災などです。私は、今年のはじめて「平和七夕」のボランティアに参加しました。日本に来て3年になりますので、七夕祭りにはこれまでに3回足を運びました。昨年は友だちと一緒にこのお祭りを訪れました。七夕飾りの下を歩きながら、どれも美しい数々の提灯や飾りを眺めていたのですが、その中でもひときわ目を引くものがありました。見事な折り鶴で作られた吹き流しだったからです。私たちが目にした数々の七夕飾りの中で、これを最も美しいものとして選んでいました。それが「平和七夕」の飾りでした。広島と長崎への原爆投下を取り上げ、このような悲劇を二度と繰り返さないように平和を訴えることをテーマに作成されたもので、その出来事に関する説明も記述されていたため、理解を深める上で大変役立ちました。その時は、この活動にまさか1年後に自分が参加することになるとは、思ってもいませんでした。今年、YMCAに入学して、学校でボランティアをする機会に恵まれました。たくさんの折り鶴をつなげてレイを作る作業を行いました。そして当日の朝は会場へ行き、七夕飾りを吊るす作業をサポートしました。

多くの人々の手によって完成した「平和を祈る七夕飾り」は、たくさんの七夕飾りの中で一番美しい飾りでした。それを見る人々は、心に平和の願いを強く持つことになったでしょう。



YMCA と私

仙台市旭ヶ丘児童館



仙台市旭ヶ丘児童館 ボランティアリーダー / 山口 斉 さん

YMCAと関わるきっかけとなったのは、私がうつ病であったことでした。心を病み、毎日家の中でどんよりと過ごす日々。氣力を失い好きなこともできなくなっていました。なぜか「誰かの役に立ちたい」という気持ちだけはずっとありました。そんな時に近所の旭ヶ丘児童館でボランティア募集を知り、「子どもたちのために役に立てることがあれば…」と思ったのが始まりです。

今は仕事をしながらのため頻繁には行けませんが、児童館に行けば喜んでくれる子どもたちがいることは本当にありがたいことです。正直、私の方が元気をもらい、楽しませてもらっています。おかげで児童館に行った日は毎回が大切な一日になります。最近ではボランティアを始めた当初の大人になった子どもたちと再会し、思い出話で盛り上がることもあります。「え？結婚してお子さんまで？ちょっと待って、私はまだ独身…」なんて。

ボランティアを始めて16年、今やAIが身近なものとなりこれまで以上に人とデジタルの関係が切り離せない時代になりました。他方で、人と人の関係がこれまで以上に浅くなっているように感じます。ですが、私は子どもたちとの関わりを通して「人は直接面と向かって思いを語り合うのが一番」と実感しています。特に子どもたちとはこれに限ります。相手の表情、声、動作には、気持ちを理解するためのヒントがたくさん散りばめられています。それを繰り返すことで、相手を思いやるという考えが生まれ、尊重する心が鍛えられ、人に優しくしようとする心が自然と育まれていくのだと思います。

これらのことはボランティアを通して、職員の皆さま、子どもたち、保護者の方々から学ばせていただいたことです。このようなかけがえのない場所を提供してくださっている皆さま、本当にありがとうございます。きっかけとなった病気にさへ感謝、つらいけど。そして子どもたちへ。君たちと過ごした時間全てが私の宝物です。本当にありがとう。

維持会費 (6月16日～8月15日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般會員

維持会員A 工藤悦子、郷古祐子、尾木進一
尾木恵美子、中村吉孝

維持会員B 岸田清実

維持会員C 工藤正剛



絵..伊勢文夫さん

※敬称略



仙台YMCA



YMCA

施設見学 ツアー

サービス
を希望してお申し込み
して頂きます

**定員
12名**
(先着順)



参加無料

2026年9月5日(土) 9:00-13:00

[9:00] 七十七銀行本店前集合 [13:00] 仙台駅or地下鉄西公園駅or立町公園 解散

YMCAは子どもに関わる仕事がたくさんあります。あなたの「強み」や「長所」/「元気を」を活かしてYMCAで、私
たちと一緒に働きませんか？



見学する施設

YMCAの公益施設で
本拠地がこちらです！


→




定員12名
先着順



仙台駅or地下鉄西公園駅or立町公園



20分程度
送迎あり

施設見学を
希望する方へ

※お申し込み
は、こちら
のQRコード
から



お申し込み
は、こちら
のQRコード
から

内容 施設の見学に加え、施設長や職員、スタッフと直接お話し会話を希望する方はサービス・プログラムについて、施設長と直接お話し会話を希望される方も可能です。

対象 小学生、中学生、専門学校生やひとこと社会に就いた方の方

費用 施設見学への参加費は行わずに無料となります

募集 定員12名で先着順です。定員に達したら終了となります

仙台YMCA採用事務局
学校法人YMCA仙台 総務 生活文化事業企画室YMCA仙台総務 仙台市太白区仙台駅前5-1-1 仙台YMCA仙台センター6階

〒981-0822 仙台市太白区仙台駅前5-1-1 TEL02-222-3333 FAX02-222-2202
<https://www.ymca-yokohama.or.jp/> EMail ymca-yokohama@ymca-yokohama.or.jp

**お申し込み
はこちら**



仙台 YMCA では、一緒に働くスタッフを募集しています。現在募集中の求人情報や施設見学ツアー・採用説明会の開催スケジュール等掲載していますので、是非ご覧ください！

一般会員・サポート会員を
随時募集中です
ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ：本部事務局
TEL:022-222-7533
FAX:022-222-2952

『今年もまた、「みつかる。
つながる。よくなっていく。」』



今年もまた、そうした瞬間があちこちで生まれたのだらうと思うと、とてもうれしく思います。

仙台 YMCAチャリティゴルフ



にゴルフを始めたのが、56歳から毎年月3回程度ゴルフ場に通っています。ただし、スコアは一向に良くなりません。でも諦めないで楽しんでいます。昨年は、大雨の中最後までラウンドしたことを覚えています。仙台YMCAチャリティゴルフの趣旨は、第1回から変わることはありません。その一つに「ウォーターセーフティハンドブック」を、新入学時の児童を対象に仙台市内の小学校へ配賦している事です。今年も水難事故が海や川で多発しているニュースを聞く度に、子どもの命を守ることの大切さを感じております。そのほかに全国YMCAボランティアリーダー研修会参加助成金や、仙台YMCA子ども支援基金に役立てています。どうか本大会の趣旨にご理解を頂き、チャリティゴルフにご参加並びにご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

家族 友人 同僚と
もうろっお一人でも
一緒に走ましよう！

仙台YMCA
第32回インターナショナル・
チャリティーラン2026

ファミリラン(短距離)
駅伝ランナー(6人チーム)
協賛・グッズ 各機申し込み
こちらのQRコードから！

9月27日(日) 9:00AM - 2:00PM
会場：仙台市西公園中央広場

022-222-7533
email:run@condan-umca.org

公益財団法人日本YMCA同盟
内閣府、厚生労働省、スポーツ庁、
東京都教育委員会
東京都、杉並区、社会福祉協議会等

⑤ 社会福祉法人官制条例が、看護福祉
一般社団法人官制条例等をベース
とし、厚生派遣、自治派遣、ミヤギ

YMCA  みつかる
つながる
よくなっていく

日 程	2026年1月15日(木) 雨天待機	
会 場	松島サウナセンタービル 松島コース	
参加費	一人1人 4,000円	参加の申込は、こちらから
決 定 費	※一律1人。返金は当日参加者間でやり取りをします。大会の詳細は※参加要項を参照 9 6 5 (2 組、1組あたり)	
主 催 者	参加に必要なのはQRコードを各自持ち、松島YMCA 電話 022-222-7533までお問い合わせします。 参加要項はWEBでPCからダウンロードできます※ http://sites.senda-yymca.org/golf/	
主 催	公益財団法人 松島YMCA	
共 催	松島フェイスズクラブ、松島青葉フェリスズクラブ 松島三川フェリスズクラブ、石坂成徳フェリスズクラブ	
後 援	松島市教育委員会、松島サウナセンタークラブ 第2回松島YMCAチャリティゴルフ実行委員会	
企画運営		

他社 YMCA チャリティゴルフは、支援を必要としている子どもたちを支援することを目的に 1998 年に「他社 YMCA チャリティゴルフ」が結成されました。今年で 29 回目を迎えるイベントです。

チャリティゴルフは、参加者からいただく金銭を他社チャリティとして、子どもたちのために活用されるための「ウォーターセーフティバンク」に寄付、他社 YMCA ロサンゼルスグループに寄付金参加費用、他社 YMCA チャリティ会館などに立てられた寄付金として活用されています。

また、当日のイベント期間中のある計画や準備をすべてボランティアの両方によって運営されているのも他社 YMCA チャリティゴルフの特徴です。同様の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

大会参加者募集中！

プレーを楽しみながら、チャリティに貢献！大会への参加を希望して参ります！1チームでの参加も歓迎です。

会場とバス松崎選手クラブ・クララビル日本橋三軒丸の内駅に隣接した6階建てのビルで、歴史を感じさせる風情と機密性を兼ね備えた36カ所のプレイエリアです。

松崎コースは、松崎氏の多量集積によって成る光沢面と華麗な装飾からなる豪華なコースが特徴です。女子プロ選手特別開催実施のあるチャンピオンコースでもあります。

協賛品にご覧いただき、全食品、個人、個人の料理を提供しています。ご賞味ください。大人数のご来場にはお会の最中にも飲み物をご用意いたします。皆様は、お近くのDMCへお問い合わせいただけます。ご連絡させていただきます。

仙台DMC TEL: 022-222-7533 (代表)

会場：村井南子・大森敬太

*原材料、飲料水、商品券、タオル類などでもご利用です。未使用のものに限らせていただきます。

協賛品のご協力をお願いします！

協賛品をご提供いただける企業、団体、個人の皆様を募集しています。ご寄付いただきました協賛品は大会の賞品としてご提供させていただきます。協賛品は、近頃のYMCAにお持ち込みいただくか、ご連絡をいただければ取りお持ちします。

仙台YMCA TEL: 022-222-7533 (代表)
財田：村井育子・土橋敬太
※食料品、飲料水、商品券、タオル類など何でも結構です。未使用のものに限りさせていただきます。



公益財団法人 仙台 YMCA 〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町 9-7 Tel 022-222-7533 Fax 022-222-2952



第29回
仙台YMCA
チャリティゴルフ
HPはこちら

仙台YMCA

みづから
つながる
よくなっていく

2026年 熊本地震
救援・復興支援募金

2026年7月28日16時27分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1（推定）の地震が発生し、宇城町および氷川町で最大震度7を観測しました。被災されたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。現地からは甚大な被害状況が伝えられていますが、被災したさまざまな施設・企業は、速速の損害等の調査を受けつつも、迅速所運営などの被災者支援の取り組みやさまざまな支援のニーズに対応する必要があると考えていることと予想されます。こうした状況を受け、被災された熊本の方々の支援するため、「2026年熊本地震 救援・復興支援基金」を愛護いたします。



10年前、2016年の熊本地震では避難所運営やボランティア受け入れのマッチング、子どもの心のケア等を熊本YMCAが中心となり展開し、全国のYMCAへ協力しました。

2026年熊本地震 救援・復興支援募金

第一次募金受付期間 2026年7月30日から9月30日まで

【募金使途】：
YMCAが行う被災地域での救済、復興支援の活動のために用いさせていただきます。

※詳細は随時ホームページでお知らせします。

このチラシ裏面の特製募金袋に募金を同封の上、仙台YMCAの運営する施設の窓口
 へ、以下にお持ち込みください。

①郵貯振替：日本YMCA同盟災害支援基金口座番号：00130-4-696497

②銀行振込/クレジットカード：右のQRコードからWebサイトにお入りください。
<https://www.aso-bridge.net/omca/brdca01/>

*銀行振込の口座番号は、募金使途確認などのため、一度メールを送信いただいた上でお

知らせております。ご不明な点などございましたら、お手数ですが日本YMCA同盟（TEL: 03-5367-6640）までお問い合わせください。

公益財団法人 仙台YMCA 〒960-0822 仙台市青葉区立町9-7

TEL 022-222-7533 FAX 022-222-2962 Email:info@send